



平成26年8月29日
内閣府（防災担当）

平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。
なお、表彰式の日時等については、別途お知らせいたします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問い合わせ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 馬場、加藤、五十嵐、後藤

電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

明治大学大学院 特任教授

中 林 一 樹

(東京都)

アジア防災センター センター長

濱 田 政 則

(兵庫県)

山口大学 副学長

三 浦 房 紀

(山口県)

香川大学 教授

白 木 渡

(香川県)

○ 団体

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成23年台風第12号における消防団の災害出動)

五條市消防団

(奈良県)

黒滝村消防団

(奈良県)

天川村消防団

(奈良県)

野迫川村消防団

(奈良県)

十津川村消防団

(奈良県)

川上村消防団

(奈良県)

(平成25年7月豪雨における消防団等の災害出動)

栗原市消防団

(宮城県)

白鷹町消防団

(山形県)

森上区自主防災会

(新潟県)

西伊豆町消防団

(静岡県)

山口市消防団

(山口県)

萩市消防団

(山口県)

(平成25年8月豪雨における消防団の災害出動)

雫石町消防団

(岩手県)

紫波町消防団

(岩手県)

矢巾町消防団

(岩手県)

(平成25年8月豪雨等における災害警備活動)

秋田県警察本部

(秋田県)

(平成25年9月竜巻における消防団の災害出動)

越谷市消防団

(埼玉県)

(平成25年台風第18号に伴う竜巻における消防団の災害出動)

熊谷市消防団

(埼玉県)

(平成25年台風第18号における消防団の災害出動)

敦賀美方消防組合三方消防団	(福井県)
若狭消防組合小浜消防団	(福井県)
伊賀市消防団	(三重県)
大津市消防団	(滋賀県)
高島市消防団	(滋賀県)

(平成25年台風第18号等における消防団の災害出動)

栗東市消防団	(滋賀県)
--------	-------

(平成25年台風第26号における災害警備活動)

警視庁	(東京都)
-----	-------

(平成25年台風第26号における消防団の災害出動)

長生郡市広域市町村圏組合消防団	(千葉県)
大島町消防団	(東京都)

(平成25年台風第26号における災害派遣活動)

伊豆大島災統合任務部隊	(東京都)
-------------	-------

[防災体制の整備]

三郷市自主防災組織連絡協議会	(埼玉県)
本大久保ホームタウン自治会自主防災会	(千葉県)
東伊豆町大川区自主防災会	(静岡県)
豊橋障害者(児)団体連合協議会	(愛知県)
四日市市港地区自主防災組織連絡協議会	(三重県)
桃山学区自主防災会	(京都府)
高知市立潮江中学校 (潮江中学校防災プロジェクトチーム)	(高知県)

[防災思想の普及]

牛伏鉢伏友の会	(長野県)
---------	-------

以上 4個人、36団体

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	なかばやし い つ き 中 林 一 樹
住 所	東京都千代田区
職 業	明治大学大学院 特任教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、都市防災学、都市計画学、まちづくり論を専門とし、特に災害予防と復興の都市づくり・まちづくりに関する研究等において優れた業績を残しており、防災行政への有用な提言を行うなど、防災に関して幅広い分野で貢献された。</p> <p>研究活動においては、首都直下地震に係る防災計画論や密集市街地の防災まちづくり論など極めて高く評価される一方で、都市計画学会理事、地域安全学会理事などの要職を務めるなど、同氏の功績は極めて大きいものがある。</p> <p>防災行政においては、中央防災会議「首都直下地震避難対策等専門調査会」座長、「首都直下地震対策検討ワーキンググループ」委員、「首都直下地震対策専門調査会」委員、東京都防災会議専門委員等を歴任し幅広い知見から数多くの有用な提言を行い、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	は ま だ ま さ の り 濱 田 政 則
住 所	兵庫県神戸市
職 業	アジア防災センター センター長
功 績 の 概 要	<p>同氏は、地震防災工学、地盤工学において優れた成果を残しており、最先端の研究・教育と地域の防災力の向上に幅広く貢献するほか、防災行政へ有用な提言を行うなど、防災に関して幅広い分野で貢献された。</p> <p>研究活動においては、液状化地盤の側方活動に関する研究、地表地震断層に対する土木構造物の耐震性向上に関する研究等において、その成果は学術的にも極めてレベルの高いものであり、これらに加え、防災に関連する分野では、(社)土木学会会長、日本学術会議 土木工学・建築学委員会委員長、日本地震工学会副会長の要職を務めるなど同氏の功績は極めて大きなものがある。</p> <p>防災行政においては、中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」委員をはじめ、「東海地震対策専門調査会」委員、「東海地震に関する専門調査会」委員、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」委員、「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」委員等を歴任し幅広い知見から数多くの有用な提言を行い、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
氏 名	みうら ふさのり 三 浦 房 紀
住 所	山口県宇部市
職 業	山口大学 副学長
功 績 の 概 要	<p>同氏は、災害時の情報の重要性を早くから認識し、平成13年より総務省中国総合通信局と共に災害時の防災情報システムの在り方の研究に取り組み、高齢者や障害者のような災害弱者の安全を守るための防災情報システムの開発を進めている。</p> <p>さらに、平成21年からは宇宙航空研究開発機構(JAXA)と衛星リモートセンシング技術を用いた災害情報収集、処理、伝達に関する先進的な共同研究を行うとともに、平成25年に組織されたJAXAの「大規模災害衛星画像解析WG」の委員長を務めるなど、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
氏 名	しらき わたる 白 木 渡
住 所	香川県高松市
職 業	香川大学 教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、信頼性工学の第一人者として、社会基盤施設・設備の信頼性設計の推進（ハードウェア対応）、災害発生時の避難誘導対策の強化（ソフトウェア対応）、防災・危機管理の人材育成（ヒューマンウェア対応）という三位一体対応の重要性を提唱し、学会活動等を通して防災・危機管理の教育研究の普及並びに地域貢献活動において優れた成果を残している。</p> <p>また、土木学会では、安全問題委員会委員長、日本材料学会では、信頼性工学部門委員会委員長のほか、学会や各種団体の要職を歴任するなど、学会に対しても多大な貢献をしている。</p> <p>さらに、平成20年4月に、香川大学危機管理研究センターの設立とともに初代センター長に就任し、国、県、市町の行政機関は勿論、学校、地域コミュニティと連携して地域防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	五 條 市 消 防 団
所 在 地	奈 良 県 五 條 市
代 表 者	さくらい としふみ 団 長 櫻 井 利 文
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成23年9月台風12号の影響での深層崩壊による災害に際し、行方不明11名の捜索のため、紀伊半島で記録的豪雨となった約2ヶ月に延べ1,642名を出動させた。</p> <p>土砂ダムが形成され決壊の恐れのある極めて危険な状況の下、河川内等で行方不明者の捜索活動を行うとともに、避難地区の避難誘導・警戒、さらに、災害発生から1年ごとに行方不明者の一斉捜索も実施するなど二次災害の防止に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	黒滝村消防団
所 在 地	奈良県吉野郡黒滝村
代 表 者	な かい い ち ろ う 団 長 中 井 一 郎
功 績 の 概 要	同消防団は、平成23年9月台風12号に際し、紀伊半島で記録的豪雨となったが、4日間延べ120名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、流倒木の除去等を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	天川村消防団
所 在 地	奈良県吉野郡天川村
代 表 者	こ や と し み 団 長 小 屋 敏 巳
功 績 の 概 要	同消防団は、平成23年9月台風12号に際し、紀伊半島で記録的豪雨となったが、13日間延べ855名が出動し、降り続く豪雨により村内各所で土砂が民家・国道に流出して通行不能や床下浸水となる中、昼夜にわたり排水作業や土嚢積み等にを行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	野迫川村消防団
所 在 地	奈良県吉野郡野迫川村
代 表 者	つ も り よ し な お 団 長 津 守 良 直
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成23年9月台風12号に際し、紀伊半島で記録的豪雨となったが、83日間延べ484名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり住民の避難誘導、炊き出し、食料の調達、危険個所での警戒等を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	十津川村消防団
所 在 地	奈良県吉野郡十津川村
代 表 者	くりす ただす 団 長 栗 栖 規
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成23年9月台風12号に際し、紀伊半島で記録的豪雨となったが、88日間にわたり、延べ2,445名を出動させた。</p> <p>豪雨の中、昼夜にわたり住民の避難誘導、危険個所での警戒、増水した河川に押し流された住宅から3名の住民を救出するとともに、その後、行方不明者の捜索活動も長期に行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	川上村消防団
所 在 地	奈良県吉野郡川上村
代 表 者	くりやま ひでお 団 長 栗 山 秀 夫
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成23年9月台風12号に際し、紀伊半島で記録的豪雨となったが、5日間延べ219名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり水防活動を行い、土嚢積みや排水処理、倒木撤去による道路交通の確保、住民の避難誘導を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関係省庁	国土交通省
名称	栗原市消防団
所在地	宮城県栗原市
代表者	<p style="text-align: center;">さかもと ながお</p> 団 長 坂 本 長 男
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年7月豪雨災害に際し、4日間延べ419名の団員が出動し、土砂崩れや河川の越水、道路冠水により交通が寸断される困難な状況下において、昼夜にわたり土嚢積み、シート張り等の水防工法やポンプによる排水作業といった水防活動を行い、住宅・水田への冠水被害を最小限に防ぎ、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	白鷹町消防団
所 在 地	山形県西置賜郡白鷹町
代 表 者	たいら もりかず 団 長 平 盛 和
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年7月豪雨災害に際し、11日間延べ1,363名の団員が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり土嚢積み、ポンプによる排水、土石流に巻き込まれ負傷した住民2名の救出、住民の避難誘導を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	森上区自主防災会
所 在 地	新潟県長岡市
代 表 者	うめざわ せいいち 会 長 梅 沢 清 一
功 績 の 概 要	<p>同自主防災会は、平成25年7月豪雨災害に際し、12名の会員が出動し、豪雨の降り続く危険な状況の下、大規模地すべりにより全壊した住宅に人が閉じ込められていることを発見、消防署に通報するとともに住民2名を救出し、残り1名もチェーンソーなどの救助資機材を持ち寄り消防隊員と一体となり救助し、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	西伊豆町消防団
所 在 地	静岡県賀茂郡西伊豆町
代 表 者	はっとり しんいち 団 長 服 部 信 一
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年7月豪雨災害に際し、6日間延べ359名の団員が出動し、気温30度を超える猛暑の下、土嚢積み、河川の氾濫により冠水した道路に残った土砂の撤去作業を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	山口市消防団
所 在 地	山口県山口市
代 表 者	かわむら ひろつぐ 団 長 河 村 博 次
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年7月豪雨災害に際し、11日間延べ375名の団員が出動し、これまでに経験のしたことのない豪雨の中、市内全域における浸水場所での水防活動や、避難誘導及び復旧に向けた清掃水の配給活動、また、ボートによる救出活動を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関係省庁	国土交通省
名称	萩市消防団
所在地	山口県萩市
代表者	<p style="text-align: center;">やまね かつよし</p> 団 長 山 根 勝 美
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年7月豪雨災害に際し、14日間延べ507名の団員が出動し、1時間100mmを超える集中豪雨による堤防決壊や河川の越水で地域の大部分が濁流に没する困難な状況下において、住民の避難誘導、孤立した高齢者集落への飲料水・食料の運搬、一軒ずつ回った住民の安否確認等の人命救助活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	雫石町消防団
所 在 地	岩手県岩手郡雫石町
代 表 者	さ かい ひ さ え い 団 長 坂 井 久 榮
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年8月豪雨災害に際し、4日間延べ310名の団員が出動し、これまでに経験したことの無いような豪雨により発生した濁流や溢水の中、迅速に警戒パトロールに出動し、交通誘導や排水作業、土のう積み作業を行った。また、災害後も水路を塞いだ土砂の撤去作業等早期復旧に向けた活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	紫波町消防団
所 在 地	岩手県紫波郡紫波町
代 表 者	あ べ よ し な お 団 長 阿 部 悦 尚
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年8月豪雨災害に際し、3日間延べ707名の団員が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況の下、昼夜にわたり土嚢積み、孤立した住民の避難誘導、土砂の撤去作業を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	矢巾町消防団
所 在 地	岩手県紫波郡矢巾町
代 表 者	すがわら さとる 団 長 菅 原 覚
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年8月豪雨災害に際し、4日間延べ291名の団員が出動し、迅速な警戒パトロール、昼夜にわたり水防活動、住民の避難誘導、ポンプ車を使用した土砂の撤去作業、浸水した家屋の消毒作業や浸水ごみ、土砂の撤去作業を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	秋田県警察本部
所 在 地	秋田県秋田市
代 表 者	こじま のりあき 警 察 小 嶋 典 明 本 部 長
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成25年8月豪雨災害に際し、早期に災害警備本部を設置し、警備体制の早期確立を図るとともに、発災から5日間延べ約270名を現地に派遣し、被害情報の収集、被災者の救出救助、行方不明者の捜索、交通整理・誘導等の活動を行った。</p> <p>また、同年11月の土砂崩れ災害に際しても、速やかに災害警備連絡室を設置し、発災から5日間延べ約430名を現地に派遣するとともに、プレスセンターを開設し行方不明者の捜索状況を国民に的確に伝え、行方不明者家族の心情に配慮した対応を実施するなど、迅速・的確な救助活動、捜索活動等に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	越谷市消防団
所 在 地	埼玉県越谷市
代 表 者	ひらばやし てるまさ 団 長 平 林 照 雅
功 績 の 概 要	<p>同消防団は平成25年9月竜巻災害に際し、災害発生から29日間延べ674名が出動し、倒れた電柱や電線による感電等の2次災害の恐れのある極めて危険な状況の下、倒壊した建物に人が取り残されていないか確認するとともに、被災した建物へブルーシートを配布、飛散物や瓦礫を撤去するなど、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	熊谷市消防団
所 在 地	埼玉県熊谷市
代 表 者	せきね せいいち 団 長 關 根 誠 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年9月竜巻被害と台風18号の風水害被害に際し、15日間延べ972名の団員が出動し、被害情報の収集、住民の避難誘導、昼夜にわたる水防活動、竜巻により被災した建物の台風による2次被害の防止活動、被災地の夜警巡回活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関係省庁	消 防 庁
名 称	敦賀美方消防組合三方消防団
所 在 地	福井県三方上中郡若狭町
代 表 者	<p style="text-align: center;">おおうえ ただお</p> 団 長 大 上 忠 雄
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年9月台風18号の影響による集中豪雨に際し、2日間延べ312名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、ホテル等に孤立した宿泊客87名をゴムボートで迅速に救助するなど、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	若狭消防組合小浜消防団
所 在 地	福井県小浜市
代 表 者	たけなか よしひろ 団 長 竹 中 嘉 浩
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年9月台風18号の影響による集中豪雨に際し、3日間延べ648名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、市内各所で発生した水防事案に一丸となって土のう積み等の水防活動、自主避難の呼びかけ、高齢者等の要援護者を避難所に搬送するなど、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	伊賀市消防団
所 在 地	三重県伊賀市
代 表 者	いちかわ たかしげ 団 長 市 川 隆 成
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年9月台風18号の影響による集中豪雨に際し、2日間延べ1,617名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜を問わず土のう積み等の水防活動を行い、床上浸水した45世帯の住民を避難誘導するなど、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関係省庁	消 防 庁
名 称	大津市消防団
所 在 地	滋賀県大津市
代 表 者	めかた いさむ 団 長 目 片 勇
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年9月台風18号の影響による集中豪雨に際し、6日間延べ1,006名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、土嚢積み等の水防活動を行うとともに、土砂の流入した住宅からの救助救出活動、住民の避難誘導を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	高島市消防団
所 在 地	滋賀県高島市
代 表 者	みやの まさひろ 団 長 宮 野 正 博
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年9月台風18号の影響による集中豪雨に際し、2日間延べ363名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、土嚢積み等の水防活動を行うとともに、道路冠水により孤立した住宅からの救助救出活動、住民の避難誘導を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	栗東市消防団
所 在 地	滋賀県栗東市
代 表 者	やまもと つぎお 団 長 山 本 次 夫
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年9月台風18号、その後の26号、27号の影響による集中豪雨に際し、8日間延べ132名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、山崩れによる行方不明者の搜索活動、住民の避難誘導を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	警視庁
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者	警 視 監 高 綱 直 良 <small>たかつな なおよし</small>
功 績 の 概 要	<p>同庁は、平成25年10月台風26号による大島町の災害に際し、災害警備本部を設置して警備態勢の早期確立をはかるとともに、いち早く警察用航空機で特殊救助隊を派遣して、被災者の救出救助に当たったほか、順次機動隊等の部隊を派遣し、行方不明者の捜索、交通整理、避難誘導等の活動を行った。</p> <p>また、被災地内の治安対策を実施するなど、発災当初から1ヶ月間延べ約6,000人の警察職員を動員して、都民の安全確保と都民に対する積極的な情報発信を行い、都民の安心感の醸成に努め、被災者支援に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	長生郡市広域市町村圏組合消防団
所 在 地	千葉県茂原市
代 表 者	おだか としひろ 団 長 小 高 利 広
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年10月台風26号の影響による集中豪雨に際し、2日間延べ422名が出動し、降り続く豪雨という極めて困難な状況下において、昼夜にわたり水防活動を行うとともに、河川の増水により孤立した207名の住民の避難誘導を行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	大島町消防団
所 在 地	東京都大島町
代 表 者	よしだ よししげ 団 長 吉 田 喜 重
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成25年10月台風26号の影響による集中豪雨に際し、17日間延べ2,974名が出動し、降り続く豪雨と二次災害の発生が懸念される極めて困難な状況下において、昼夜にわたり被災した住民の救助・捜索・警戒活動に従事した。</p> <p>同消防団員には建設業に従事している者が多く、自ら重機を操縦して土砂、流木、がれきの撤去、救出経路の確保などに多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災現場での顕著な防災活動]

関係省庁	防 衛 省
名 称	伊豆大島災統合任務部隊
所 在 地	東京都練馬区
代 表 者	<p style="text-align: center;">いそべ こういち</p> <p>東 部 方 面 総 監 陸 将 磯 部 晃 一</p>
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成25年10月台風26号の影響による集中豪雨により発生した土砂災害に際し、平成25年10月16日から11月16日までの間、陸海空自衛隊の一元的運用等により機動的に展開し、延べ64,013名を派遣し、人命救助、行方不明者の捜索、患者の輸送、給水支援、物資輸送等各種支援活動を実施し、被災地住民の安全確保及び生活基盤の確保に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関係省庁	内 閣 府
名 称	三郷市自主防災組織連絡協議会
所 在 地	埼玉県三郷市
代 表 者	な か む ら と し ひ で 会 長 中 村 智 英
功 績 の 概 要	<p>同連絡協議会は、地域防災力の向上を目指した自主防災組織による自発的な訓練を推進するための地域防災リーダーの養成を目的に、「自主防災訓練指導者養成講座」を開設し、防災リーダーとしての技術習得の場を提供してこれまでに多くの人材を輩出している。</p> <p>これにより指導者相互ネットワークの構築、自主防災組織の中で指導者が育成されるなど、次に伝えていく指導者育成のシステムが構築された。</p> <p>さらに、市内7ブロックの自主防災会の情報交流会、官民が連携した啓発事業の実施など、多様な取り組みを行っており、自主防のスローガンである自助、共助を実践しているものであり、他の自主防災組織の模範となっており、地域の防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	本大久保ホームタウン自治会自主防災会
所 在 地	千葉県習志野市
代 表 者	は せ が わ き よ じ 会 長 長 谷 川 清 次
功 績 の 概 要	<p>同自主防災会は、平成20年から自治会役員とは別立ての専任制自主防災会を組織した。組織化に当たって、専任の防災委員に加え、緊急時に出動する協力委員、さらには自治会役員・班長を含めて統制できるよう地域ブロック制を導入した。</p> <p>自治館内に防災センターを設置し、災害発生時における被害状況の早期把握と早期支援体制構築の際に、ITツールを積極的に利活用しており、講習会や訓練などにも積極的に取り組むなど、その活動は、自主防のスローガンである自助、共助を実践しているものであり、他の自主防災組織の模範となっており、地域の防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	東伊豆町大川区自主防災会
所 在 地	静岡県賀茂郡東伊豆町
代 表 者	い い だ い さ お 会 長 飯 田 伊 三 男
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、地域の地理的特性や、住民生活形態など実情を考慮しながら、町委嘱防災委員、地区消防団、住民、婦人団体等、地区内の関係機関と連携し、自主防災活動に取り組んでいる。</p> <p>地域内に医療施設が無いことから、災害時の応急救急に対応できるよう、住民の中から看護師資格を持っている住民の協力を得て救護班を作ったり、隣市の八幡野漁師会と海上輸送の協定の締結、ヘリポートの確保など、地域の特性(孤立化)を考慮した体制の整備に尽力した。</p> <p>また、地域の中・高校生も参加した避難行動要支援者の避難支援や安否確認訓練を実施するとともに、町内の「伊豆レスキューバイク隊」との合同訓練を実施するなど、その活動は、自主防のスローガンである自助、共助を実践しているものであり、他の自主防災組織の模範となっており、地域の防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	豊橋障害者（児）団体連合協議会
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者	やました とおる 会 長 山 下 徹
功 績 の 概 要	<p>同協議会は、平成21年度から豊橋市障害者福社会館（さくらピア）指定管理に伴い、様々な障害者防災啓発事業を継続的に企画・実施している。</p> <p>特に、過去5年間にわたり開催している「さくらピア避難所体験」（第18回防災まちづくり大賞総務大臣賞受賞）では、障害当事者が主役となり、福祉避難所宿泊体験、障害種別ごとのディスカッションなど、「障害者の会館」としての特性を生かした、実践的な防災訓練を行っている。</p> <p>また、東日本大震災に関連し、追悼セレモニー、障害者の防災を考える集いを開催し、被災障害者を考える場として、「要支援者防災」の必要性を訴えるなど、障害者を取り巻く地域の防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	四日市市港地区自主防災組織連絡協議会
所 在 地	三重県四日市市
代 表 者	おくむら よしたか 会 長 奥 村 吉 孝
功 績 の 概 要	<p>同連絡協議会は、災害時の被害状況を想定した自主防災体制づくりや、個人・家族の行動、避難所などの具体的かつ詳細なマニュアルを作成し、各戸に配布している。また、災害時要援護者には、福祉と防災を一体化した「港地区支え合いカード」を作成し、カードを基に家庭訪問を実施するなど、支援体制の強化に尽力している。</p> <p>四日市市港地区は、危険物を扱う施設が多く、沿岸部の埋立地という立地条件を踏まえ、事業所と連携して、合同防災訓練や図上訓練の実施及び個別課題について話し合う連携会議を開催してきた。</p> <p>さらに、「いきいき防災講座」、「ロコモーショントレーニング（体力づくり）」など、高齢者を対象とした防災意識啓発を実施しており、その活動は、自主防のスローガンである自助、共助を実践しているものであり、他の自主防災組織の模範となっており、地域の防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	桃山学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市
代 表 者	<p style="text-align: center;">きたむら まさよし</p> 会 長 北 村 正 義
功 績 の 概 要	<p>同自主防災会は、社会福祉施設と連携し、大規模災害発生時における相互支援協力体制を構築して定期的な訓練を実施するとともに、防災訓練を通じて児童生徒の防災への関心を高め、将来の災害に強いひとづくり、まちづくりに尽力している。</p> <p>具体的には、社会福祉協議会との共催による防災講演会の開催、地元中学生と消防団による実践的な実動訓練の実施、直近の避難所が分かりやすい防災マップづくりなど、その活動は、自主防のスローガンである自助、共助を实践しているものであり、他の自主防災組織の模範となっており、地域の防災力向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	高知市立潮江中学校（潮江中学校防災プロジェクトチーム）
所 在 地	高知県高知市
代 表 者	さかもと しょうじ 校 長 坂 本 昌 二
功 績 の 概 要	<p>同校は、平成23年の東日本大震災を契機に、地域全体の防災意識をさらに高めるべく、地域の学校との学習会の実施や企業との連携、地域高齢者を支援しながらの避難訓練等、地域に根ざした多岐にわたる防災活動を行っている。</p> <p>近い将来に発生が懸念されている南海トラフ大地震において、少しでも被害を軽減させるため、地震啓発ポスターの作成、学校内に約50の防災関連商品を展示した防災展示館の開設など、防災意識の啓発や地域防災力の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	牛伏鉢伏友の会
所 在 地	長野県松本市
代 表 者	かとう てるかず 会 長 加 藤 輝 和
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成15年の発足以来、登録有形文化財に指定されていた砂防施設「牛伏川階段工」（平成24年7月国の重要文化財に指定）周辺の草刈りや清掃などの維持管理、明治時代に造られた歴史的砂防施設の発掘・維持保全を行った。</p> <p>整備された現地では、地元こども育成会による野外活動の実施や、市民対象の施設見学会を実施するなど、砂防施設に実際に触れる機会を積極的に創出し、地域住民への土砂災害防止意識の向上に大きく寄与するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>